大阪 歯科
保険医新聞
12/5
2010年第1061号
（毎月5、15、25日発行）
大阪府歯科保険医協会
発行人　志岐　敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

全国最低の府の乳幼児医療費助成を改善するよう迫る伊津進弘理事長（前列左から２人目）＝11月25日、大阪市内

大阪府と交渉

命と健康守る責任放棄

国保 広域化でも独自支援否定
医療助成 乳幼児全国最低を放置

協会は福祉医療費助成の拡充や保険料引き上げにつながる国保広域化の撤回、審査・指導の改善などを求めて11月25日、大阪府と庁舎内で交渉した。国保広域化をめぐっては、協会が府民の命と健康を守る立場で府として責任を果たすよう求めたところ、府当局は「何の責任ですか。広域化と全然関係ない」と答弁するなど、無責任な姿勢を露呈した。

問われる自治体の役割

国保広域化で保険料高騰

国保の広域化は、橋下知事が7月に都道府県単位での運営を検討していくことを表明した。前提として、市町村の①国保への一般会計繰り入れ廃止②保険料の減免制度廃止――が示され、広域化が保険料の高騰を招くことが明らかになっている。

協会は、広域化撤回を求めるとともに、高すぎる保険料を抑制するよう迫った。府は「広域化で安定した運営ができるように検討している」と説明。協会が「すでに広域の大阪市国保は巨額の赤字だ。安定する根拠は何か」と指摘すると、「国に（補助を）要望している」と弁解した。「国が補助しない場合は府が責任をもって負担するのか」との問いに、府は独自支援を否定した。協会は府民の命と健康を守る責任を果たすよう訴えたが、府当局は「何の責任ですか。広域化と全然関係ない」と開き直った。

また、18歳未満の短期証の切り替え時に「無保険」状態に陥っている実態を確認したところ、府はまったく把握していないことが分かった。

財政難は理由にならない

府の乳幼児医療費助成は、対象年齢が3歳未満（通院）で全国最低となっている。協会は、会員訪問で浮かび上がった受診中断の実態を示し、就学前に拡充するよう求めた。

府は「2013年度を目途に抜本的見直しを検討している。現時点では年齢の引き上げは困難」と回答。協会は、知事の「医療費助成は余裕のあるときにするものと思う」との発言を指摘し、「大阪は全国で何番目に財政が苦しいのか」と追及した。府が回答に窮したため、「大阪の財政は全国最低ではない。にもかかわらず、乳幼児医療費助成は最低だ。財源がないなど理由にならない」と厳しく指摘した。府は「他府県の状況もみながら、項目の一つとして検討していきたい」と述べた。

新規個別の再指導やめよ

審査・指導では、指導時の①被指導者の求める帯同者を認めること②診療報酬の自主返還を求めないこと③新規個別指導の「再指導」は実施しないこと――などを求めた。府の担当者は「近畿厚生局に伝えておきます」「お答えできかねます」など、無責任な回答に終始した。協会は、府として主体性を持って近畿厚生局や選定委員会に働きかけることを訴えるとともに、交渉の場に府の選定委員の出席を強く求めた。

交渉には、伊津進弘理事長はじめ役員11人が出席。診療現場の実態を府に知らせ、歯科医療改善を訴えた。

共済部からお知らせ「保険医年金・一時金の年内着金について」詳細3面

行政の劣化感じる

小澤　力　副理事長

今年の大阪府との交渉で感じたことは、行政の無責任さと主体性のなさだ。府民の生活実態をつかみ、そこから改善策を講じていこうという使命感が一切感じられない。背景には、国保や医療費助成を国の役割と決め付け、府の責任を放棄する橋下知事の偏った政策がある。

地方自治法の第一条は、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と規定している。府の姿勢は、自治体の本旨に真っ向から反するものであり、行政の劣化に怒りさえ覚える。

協会は、大阪府が本来の使命と役割を果たし、府民の立場に立った府政へ転換するよう引き続き求めていきたい。

因果関係を開業医で調査
藤野氏 連携の意義・実際を話す

歯周病と動脈硬化

歯周病と動脈硬化の因果関係を開業医レベルで研究することを目的に、東京医科・歯科協会、千葉協会は共同で取り組みを進めている。協会は医科歯科連携促進をめざし共同研究に参加している藤野健正氏（東京歯科保険医協会理事）を講師に「これぞ医科歯科連携」を11月14日、M&Dホールで開いた。

因果関係の立証で「生活習慣病患者を歯科受診につなげられる」と語る藤野健正氏＝11月14日、M＆Dホール

藤野氏は、共同研究の歯周病と動脈硬化症の関係に着目したのが5年前、2年間の準備期間と岡山大学歯周病学教室との連携などを経て実践に移り、現在、70症例の調査例があると、東京・千葉の取り組みの到達を紹介した。共同研究は、医科では血液検査と脈波伝播速度を測る機器等が、歯科では歯周病原菌抗体価検査と歯周精密検査が必要とした。

調査の意義について、因果関係があると立証できれば、①成人病を含む多くの疾患を有する患者を歯科へ受診させることになる②歯周病治療で医科疾患治療効果をあげることができる③抗体検査の有効性が認められ保険適用されれば歯科の判断能力が高まる④真の医科歯科連携が確立する――と語った。

当日は、歯科医師ら34人が参加した。

会員の弔慰について
速やかに協会事務局まで

管理部

大阪府歯科保険医協会は会員を対象に、社会慣習に従った弔慰をおこなっています。ご本人の死亡や家族（１親等）の死亡、診療所または自宅が火災・水害の被害にあわれた時は、速やかに協会事務局までご連絡ください。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード３千円分を進呈いたします。
（郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください）

歯界

多少の後遺症としての障害は残るが癌の虎口を脱した患者が定年退職を迎えた主治医の最終診察を受けた。主治医は「私が治した」なんて思っていない。謙虚に「何故治ったんでしょうかね」と患者にその理由を聞いた。

昔は病気の理由なんか誰も詮索しなかったようだ。病気には理由があると始めて主張したのがヒポクラテスだと言う人がいる。アメリカの医療評論家である。糞真面目な評論家ではない。どうせ2000年以上も昔の事で誰の説も憶測にしかすぎない。ギリシャのコサ（英語のcauseの語源）島生まれだから「理由」に執着したんだと言うのが彼のヒポクラテス説のふざけた根拠である。

理由を基盤とする科学が物質文明としての現代社会を形成しているが、まだ理由の付かない分野は多い。日本が英米相手に大暴れしたためアジア諸国が独立したという理由のでたらめさを日本と無関係だったアフリカ等他地域の多くの新生独立国が示している。